

平成 20 年度

自主防災だより

～「自主防災の活動事例」～

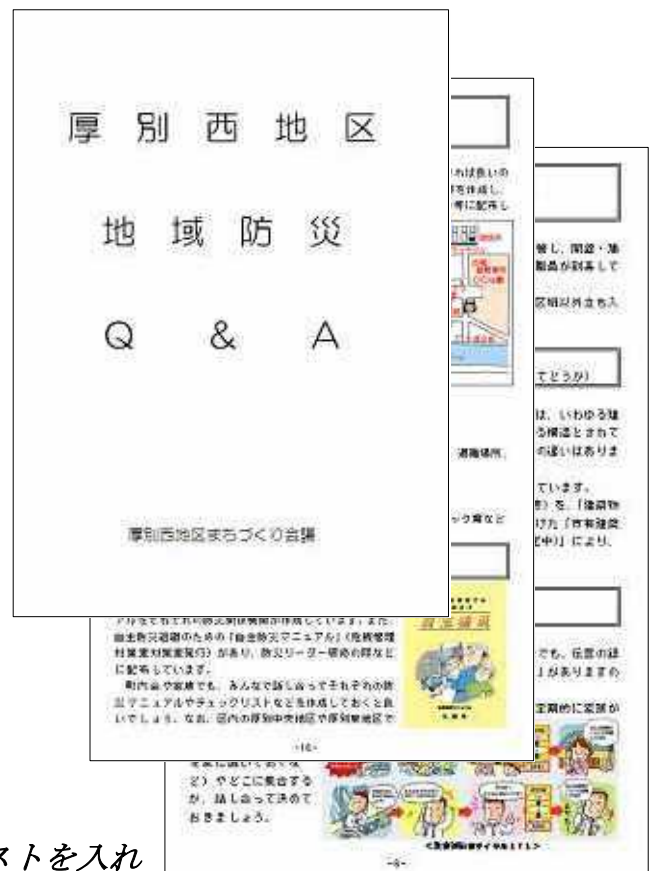
<厚別区>

厚別西地区まちづくり会議で地域防災Q&A作成!

ディグ
(DIG実施後 Q&A を作成)

平成 20 年 1 月に厚別西地区まちづくり会議において、「厚別西地区地域防犯Q&A」を作成いたしました。

昨年 11 月 10 日に厚別西地区まちづくり会議において災害図上訓練「DIG」が実施され、さまざまな地域活動に取り組む 42 団体の地域住民と応援に駆け付けた厚別区役所の職員の 70 人ほどの参加者でにぎわいました。その際、参加者から出された様々な意見や質問等を基に、厚別区役所とも協力しながら作成したものです。



(イラストを入れて
分かりやすく)

内容は、「避難場所に暖房・防寒用具はあるの」、「ペットの避難はどうしたらいいのでしょうか」といった質問をはじめ、「お米を炊かずに食べる研究を」といった要望などを集約し、イラストを入れて分かりやすく回答しています。

(まちづくりセンターを通じて配布)

完成後は、防災情報の共有を図るため、DIGの参加者をはじめ、関係団体の役員や地域の方々に配布し、大変な好評を得ています。



中央区幌西地区住民による自主防災活動

(中央区)

～自主防災訓練「防災体験 08 幌西小」の開催～

平成 20 年 7 月 27 日、札幌市立幌西小学校グラウンドにおいて、快晴の空のもと、自主防災訓練「防災体験 08 幌西小」が開催されました。

この訓練は、地元町内会等が主体となり平成 8 年から実施され 13 回目の開催ということもあり、今年も約 250 名の体制での大訓練となりました。

消防団、中央消防署の協力のもと、夏休み最初の日曜日ということもあり、小学生や親子連れの小さいお子さんをはじめとした地域の方々、町内会で防災活動に励まれている役員の方々が、汗ばむような真夏の日差しの中、意欲的に訓練を行いました。



訓練内容は、震度 6 の地震が発生したという想定のもと、被災内容の本部への伝達訓練から始まり、消火器・消火バケツリレーによる初期消火訓練、防災資機材を使用した救出・救助訓練、煙道避難訓練、応急手当訓練等の実際の災害発生を想定した実施訓練を中心に行われ、参加者も本番さながらに真剣に参加していました。

幌西地区連合町内会防災部長の佐藤英男さんに話をお伺いしたところ、「参加する住民全員が積極的に体験訓練に取り組み、万が一の場合に備えようとの姿勢が年々高まっています。消防署・消防団の指導のもと、各町内会の防災担当役員が地域住民に初期消火や初期応急手当をサポートできるレベルまで達しており、これも毎年継続して行っている訓練の賜物。」と力強く語っていただきました。



訓練に参加していた少年消防クラブのチビッコ 3 人組
本間 雄太くん（資生館小 6 年）、氏家 諒くん（幌西小 5 年）、柴田 祐希くん（伏見小 5 年）
大人に負けず、元気いっぱい頑張っていました！

防災資機材を使用した救出・救助訓練の様子
自慢のチームワークが発揮されました！！



自分たちのまちを自ら守る～自主防災組織

～ 西区発寒北連合町内会管内の文京町内会の取り組み ～

文京町内会（横谷文夫会長、310世帯）では、平成10年11月24日に自主防災組織が結成され、現在、当該組織が中心となった様々な活動を通して災害に備えています。

主な活動内容としては、防災活動マニュアルを作成し、組織全体に周知しているほか、春から夏にかけては各家庭や地域における安全点検、秋には防災訓練や地域パトロール、冬には救急救命訓練（AED等）や総会の開催、防火指導等を行っているほか、他組織とも協力して訓練を実施するなど、年間を通して様々な取組を積極的に実施しています。

また、このような活動を継続的に実施することにより、講習や訓練への参加者が増え、若いお母さんなども姿を見せるようになるなど、まさに、地域防災力の質的・量的な向上が図られています。

さらに、平成19年8月に西区で行われた札幌市総合防災訓練（会場：札幌市消防学校）にも、発寒北連合町内会の一員として積極的に参加し、発災対応型訓練（水消火器・バケツリレー・倒壊家屋救助・担架・応急手当訓練）および避難所等開設運営訓練など、通常実施しているものとは違った訓練を行いました。

平成20年1月29日、このような自主防災活動が評価され、平成19年度の札幌市防災表彰を受賞しています。



【総合防災訓練での救助訓練】



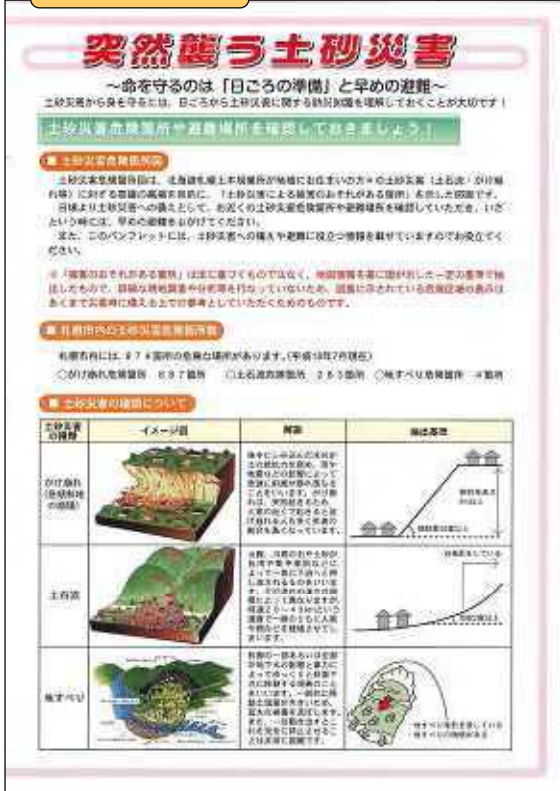
【札幌市防災表彰を受賞】

【危機管理対策室】

— 土砂災害危険箇所図の町内会回覧 — H20年1月

土砂災害危険箇所図（例）

パンフレット



札幌市では、土砂災害危険箇所にお住まいの皆様の日頃の備えとして、北海道作成の危険箇所図(各区域版)を基に、「土砂災害危険箇所図(町内会版)」と土砂災害に関する知識や避難時の心得等を記載したパンフレットを作成し、本年1月、関係町内会の皆様に回覧いたしました。

今後は避難対策等の充実に向け、北海道において、順次、危険箇所ごとに現地調査等を行い、土砂災害防止法に基づく「土砂災害警戒区域」等の指定が予定されています。

この区域指定に合わせ、札幌市でも避難情報を適切に伝達する体制等を整備してまいりたいと考えておりますので、ご理解と協力をお願いいたします。

《資料配布・閲覧場所》

- ・「パンフレット」の配付：危機管理対策室、各区役所地域安全担当係
 - ・「土砂災害危険箇所図」の閲覧：危機管理対策室、各区役所地域安全担当係（自区分のみ）
- ※北区、東区、白石区は、土砂災害危険箇所なし

— 防災行政無線の拡充整備 —

札幌市では、大規模災害時に電話回線が途絶した場合などに備え、収容避難場所となる小学校や災害時に重要な役割を担う、まちづくりセンター等300箇所の施設に防災行政無線の拡充整備を進めています。

(予定)

平成20年度:120 箇所

平成21年度:180 箇所

【無線機（見本）】



※実際の機種は、仕様が異なる場合があります